

## 「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き等の作成について（案）

※「日本語教育の参照枠」一次報告より抜粋(64 ページ)

### 9 令和 2 年度以降の検討課題

- 「日本語教育の参照枠」の現場への活用に向けて、以下のことについて今後検討が必要である。
  - ① 言語能力記述文の更なる収集
  - ② 一次報告の 6 レベル別・各言語活動別の言語能力記述文の検証
  - ③ 「日本語教育の参照枠」の日本語能力判定テストへの関連付け方法の開発
  - ④ 「日本語能力の判定基準について（報告）」の検討・作成
  - ⑤ ランゲージ・ポートフォリオ（学習の記録）の開発
  - ⑥ 各レベルの文法・語彙のリストの収集
  - ⑦ 教師のための支援ツール：カリキュラム作成及び評価のための手引等の作成
  - ⑧ 学習者のための支援ツール：利用ガイドの作成や自律学習を支援する教材モデルの開発
  - ⑨ 「日本語教育の参照枠」のイメージ図及び分かりやすい広報資料の作成
  - ⑩ 「日本語教育の参照枠」の多言語翻訳
  - ⑪ 利用者間の成果物（言語能力記述文，教材，ポートフォリオ等）共有のためのポータルサイトの開発
- C E F R 補遺版の分析及び「日本語教育の参照枠」への参照が必要かどうかについては、今後検討する必要がある。
- 参考とする C E F R は開発から 20 年以上を経過した現在でも、検証・見直しが行われており、「日本語教育の参照枠」も随時検証・見直しを行う必要がある。

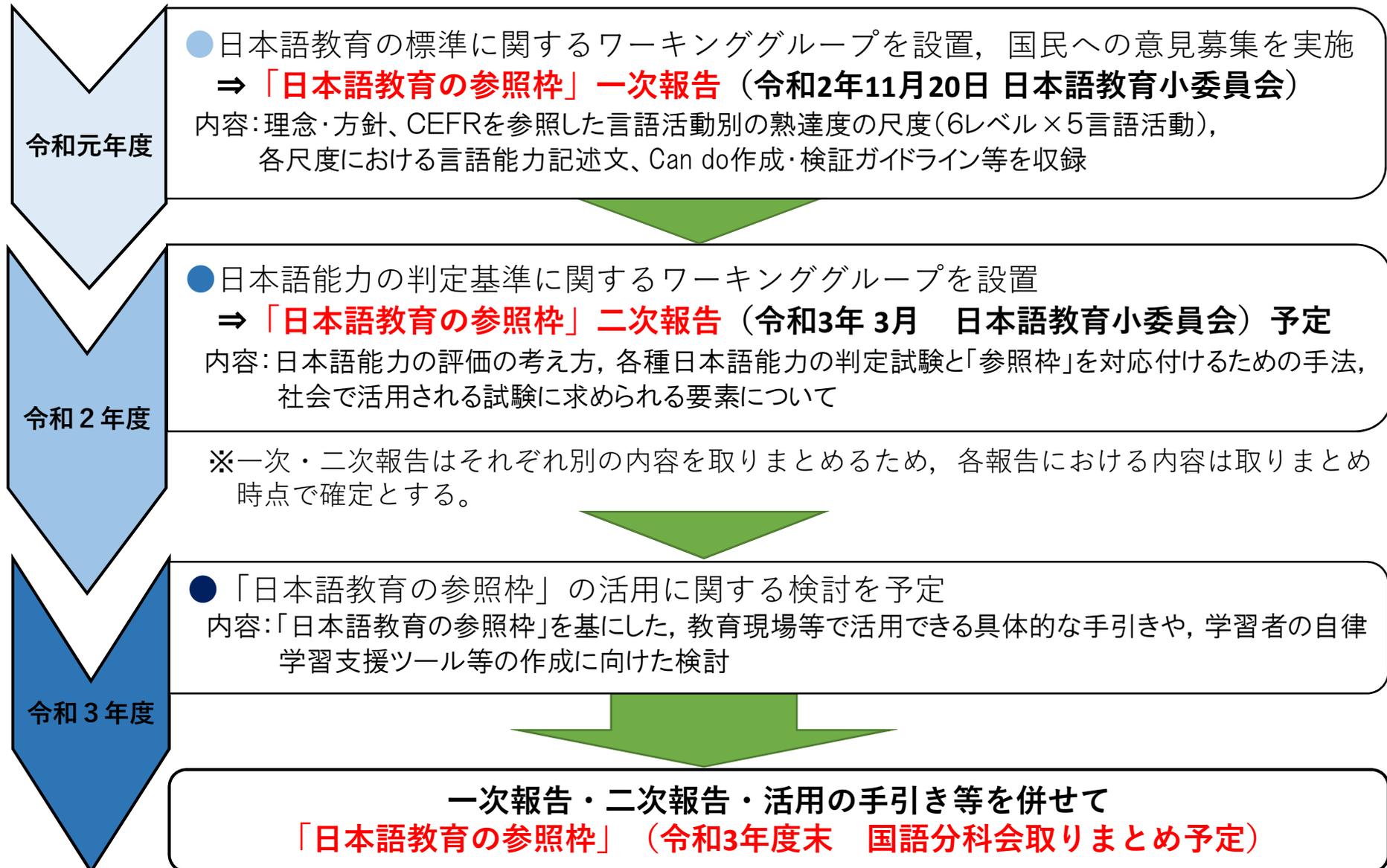
### 令和 2 年度：現在検討を行っている事項

- ① 言語能力記述文の更なる収集
- ② 一次報告の 6 レベル別・各言語活動別の言語能力記述文の検証
- ③ 「日本語教育の参照枠」の日本語能力判定テストへの関連付け方法の開発
- ④ 「日本語能力の判定基準について（報告）」の検討・作成
- ⑩ 「日本語教育の参照枠」の多言語翻訳

### 「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き等を含む事項

- ⑤ ランゲージ・ポートフォリオ（学習の記録）の開発
- ⑦ 教師のための支援ツール：カリキュラム作成及び評価のための手引等の作成
- ⑧ 学習者のための支援ツール：利用ガイドの作成や自律学習を支援する教材モデルの開発
- ⑨ 「日本語教育の参照枠」のイメージ図及び分かりやすい広報資料の作成

## 「日本語教育の参照枠」の策定に向けたスケジュール（案）



※令和4年度以降にCEFR2020補遺版等の参照について検討を行う予定